

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
解剖生理学実験		雨宮一彦・進士ひとみ	実験	1	前期
必修・選択	修了要件	選択			
	資格要件	学位取得希望者必修			
学習目標	栄養士、管理栄養士として健康の維持増進を担うための基礎知識と技術を理解するために、実験をとおして人の構造と機能について系統的に学習する。				
授 業 計 画					
回	項 目	授 業 内 容			
1	解剖生理学実験とは	解剖生理学実験の意義と目的			
2	循環器に関する実験	心音の聴取、心拍数、簡易心電図、血液型			
3	神経・筋肉・呼吸に関する実験	安静時と収縮時の筋電図、肺活量			
4	マウスの解剖	マウスの解剖と臓器観察			
5	血液に関する実験	白血球数、赤血球数、血色素量の測定、血液塗抹標本の作成			
6	組織に関する実験	血液像、組織標本の観察とスケッチ			
7	免疫に関する実験	白血球の貪食能の実験 プラーク法および液層法			
8	免疫に関する実験	白血球の貪食能の観察			
9	消化・吸収に関する実験	唾液による消化、血糖値の測定			
10	実験結果の整理・発表	個人発表			
参 考 書	穉吉敏夫 編著 解剖生理学・実験編 金原出版 2003 川村一男 編著 新訂 解剖生理学実験 建帛社 2002				
学習上の注意（自己学習、学外学習など）	解剖実験では操作が滞りなく実行できるように予め図書等で調べること。				
評価の方法と時期	実験に取り組む態度、出席回数、レポートにより総合的に評価する。				